

益城町平田地区における農村コミュニティの変遷に関する研究

熊本大学 学生会員 ○大森祐基 熊本大学 正会員 田中尚人

1. はじめに

近年農村では、都市部に比べ人口減少・高齢化が問題となっている。さらに、集落人口の減少により、地域コミュニティの維持や地域資源の活用に支障が出ている。研究対象地である益城町では、2016年4月に熊本地震が発生した。これにより、熊本県では農林水産関係で大きな被害を受け、平田地区でも家屋の全壊が全住宅の3割以上を超えるなど大きく被災した。また、平田地区は広大な農地を有しており、農村ならではの良好な景観が大きな魅力となっている。そのため、平田地区の復興には農業の復興が大切である。

そこで本研究では、農業・空間・伝統行事に着目し、平田のコミュニティの変遷を明らかにする。そこから、農業・農地が住民の生活やまちづくりに貢献し、魅力のある産業として改めて認識されることで、農村再生に寄与することを目的とする。

2. 益城町平田地区の成り立ち

本章では、文献資料、実地調査を基に研究対象地である益城町平田地区の歴史的事実について整理した。はじめに、益城町平田地区の概要を示し、その後、文献資料等をまとめた年表を作成し、現在に到るまでの益城町平田地区を読み解いた。

平田地区は益城町の北部中央に位置し、平田上、平田中、平田下、平田西、平田境に加え北部に独立して位置する黒石崎と6つの居住集落が形成されている。震災前から世帯数はほぼ変化していないが人口は緩やかに減少し、平成29年3月末現在では住民基本台帳によると人口585人、世帯数230世帯となっている。



図-1 平田地区の位置関係

表-1 益城町に関する事柄

	益城町平田地区における出来事
1954年	益城町合併(飯野・広安・木山・福田・津森)
1958年	お法使祭
1959年	木山地区簡易水道竣工
1966年	益城中央小学校設立
1969年	益城町上水道第1次拡張
1970年	お法使祭
1971年	益城町振興計画・熊本空港供用開始・益城町上水道第2次拡張
1972年	福田地区簡易水道竣工
1975年	熊本高森線津森バイパス開通
1980年	益城町上水道第3次拡張
1982年	お法使祭
1983年	熊本空港国際線ターミナル供用開始・熊本テクノポリス財団設立
1985年	益城町農業協同組合誕生
1986年	下水道第1期事業に着手
1987年	熊本益城大津線(第二空港線)開通
1994年	お法使祭
1998年	益城町総合体育館竣工・グランメッセ開設
1999年	益城熊本空港インターチェンジ開通
2006年	お法使祭
2012年	九州北部豪雨
2016年	熊本地震
2017年	復興お法使祭

3. 平田地区の空間構成

本章では、平田地区の空間の変化のプロセスについて整理した。国土地理院の地形図と現地調査を基に、平田地区の集落レベルにおける土地利用や、農地の宅住化、水路周りの生活、環境等を把握し、現在に到るまでの平田地区の空間構成についてまとめた。

平田地区は住宅が密集した集落を形成している。木山川周辺には多くの水田が広がっており、昔から農業が生業だった様子が伺える。3断面の地図で比較すると、世帯数にはあまり多くの変化がみられないが、地区内を走る道路が整備されていることが分かる。



図-2 平田地区の土地利用（1972年）



図-3 平田地区の土地利用 (1983 年)



図-4 平田地区の土地利用 (1994 年)

4. 平田地区の農村コミュニティの変化に関する分析

平田地区における大きな生業である農業について、益城町史、農林業センサス、現平田町民を対象に行ったヒアリング調査の結果をもとに整理し、分析した。次に、農業と密接な関係を持つ伝統行事について歴史、現状を明らかにする。そこから日常である農業と非日常である伝統行事の関係性を考察した。

(1) 農業

かつて平田地区では農家は、自給自足的な生活を送り、医者への支払い等は米で済ませていた。農作業は各家で全てを済ませることはできず、お互いに共同して済ませることが多かった。平成元年頃は、たくさんの方々がスイカ農家を行っており、ピーク時では平田全体で 35, 36 件あったスイカ農家も現在では 16 件と半分以下に減少している。

(2) お法使祭

お法使祭は津森宮でのお祭りで、オホシサンと呼ばれる御神体を 1 つの村で 1 年間祀ってから次の村へ送り、12 年で益城町・西原村・菊陽町を高遊原台地の周囲を左回りに一巡する。学生は公欠扱いになるほど地域住民に昔から愛されているお祭りである。また平田

地区は他の地区と違い、集落が大きいため 2 年がかりで祭りを行なっている。平成 29 年 (2017) は、平田地区の復興と地区住民の幸福を願って「平田復興お法使祭」と命名され実行された。図-5 は昭和 21 年 (1946)、図-6 は昭和 58 年 (1981) の写真でどちらも多くの人が参加している様子が伺える。図-7、図-8 は、平成 29 年 (2017) に平田で行われたお法使祭での写真で図-7 は、神輿を担いでいる写真であり、本来なら担がなくても良い年代の方々が神輿を担いでいる。図-8 は、子供達が練習した笛・太鼓等を披露している写真である。



図-5 獅子舞と子供達



図-6 道踊り後の記念写真



図-7 神輿を担ぐ様子



図-8 子供達の様子

(3) 歴史・空間との関係性

農村コミュニティの変化について、2 章・3 章で整理した歴史・空間との関係性をまとめた。

5. おわりに

本章では、本論文を通して益城町・平田地区について得た情報を整理し、コミュニティに着目しまとめる。また、これからの平田地区がどのように復興やまちづくりに向けて、コミュニティを形成すれば良いかについて考察する。

【参考文献】

- 1) 益城町：益城町史通史編，史料・民族編，1990.
- 2) 津森神宮お法使屋会：津森神宮お法使祭，2017.
- 3) 平成 28 年度食料・農業・農村白書：農林水産省，2017.
- 4) お法使祭写真集編集委員会：お法使祭今昔写真集，2011.